

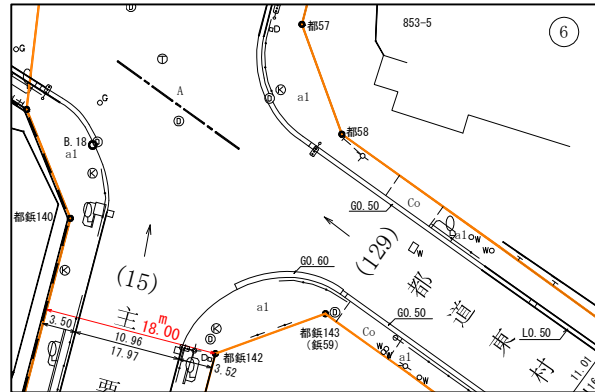
## 10 ■ 道路台帳平面図の作成

道路台帳平面図は、管理する道路、兼用工作物、占用物件、その他道路管理上の基礎的事項を統括して把握するためのものである。

### 【解説】

道路台帳平面図には下記の事項を記入すること。  
 なお、記入方法については「道路台帳一般図式及び凡例」（電子）による。

図-9 道路台帳平面図記載内容詳細



### 10-1 図化作業

(参照：図-9 道路台帳平面図記載内容詳細)

仕様 [出力色(※データ色)、線種(線幅mm)、フォント(文字高mm)]

#### (1) 現況 (地物)

M-BGD 道路 (一般国道 (指定区間外)、主要地方道、一般都道、特例都道)  
 [黒(※白)、実線/破線/跳び破線(0.13)]

M-BGD-TXT 当該道路沿道の地物及びその名称、公共建物及び主要な建物名称  
 [黒(※白)、実線(0.13)、MS明朝(2.5、道路内の文字高は1.8)]

M-BGD 主要な路上占有物件 (電柱、ポスト、電話ボックス等)  
 主要な道路付属物 (駒止、街路灯、標識、ガードレール等)  
 [黒(※白)、実線/破線(0.13)] (参照：図-10 道路台帳仕様図形データ)

#### (2) 現況 (特に明示する地物)

M-BGD-EXST [黒(※白)、実線/破線(0.25)]

#### (3) 現況 (地下道の地物)

M-BGD-EXST1 [黒(※白)、実線/破線(0.25)]

#### (4) 現況 (高架の地物)

M-BGD-EXST2 新交通 (モノレール等) 路線は、道路の地上部の形状は実線 (モノレール橋脚部分含む) で表示し、上空の構造物の線形は破線で表示する  
 [黒(※白)、実線/破線(0.25)]

#### (5) 主な横断構造物 (トンネル、橋梁、鉄道)

M-BGD-CRST [黒(※白)、実線/破線(0.25)]

#### (6) 都市区町名、丁目名

M-BGD-TXT1 [黒(※白)、実線(0.13)、MS明朝(5.0)]

## 10 ■ 道路台帳平面図の作成

### (7) 街区番号 (円の直径は 6.0)

M-BGD-TXT1 [黒(※白)、実線(0.13)、MS明朝(2.5)]

例) 新宿区西新宿二丁目 8 番地 → 番地を○で囲み街区符号とする

### (8) 都市区町境界線

M-BGD-EXS [黒(※白)、実線/破線/一点鎖線/二点鎖線(0.25)]

### (9) 基準点類

M-BMK-SRVR [黒(※緑(0, 255, 0)、実線(0.25)]

M-BMK-TXT 注記[黒(※白)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

### (10) 道路区域線、管理境界線

M-BMK-ROW [橙(255, 128, 0)、実線/破線(0.50)、MSゴシック(3.5)]

※印刷文字色[黒]

### (11) 旗上げ

M-BMK-HTXT [黒(※白)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

### (12) 標石 (石杭・金属標等)

M-BMK-SRVR1 [黒(※緑(0, 255, 0)、実線(0.25)]

M-BMK-TXT1 注記[黒(※白)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

### (13) 路線の正式名称、整理番号

M-BMK-TXT2 終点方向への矢印 (路線の起点側より終点の方向を示す)

[黒(※白)、実線(0.13)、MS明朝(3.5)]

路線の起終点 [赤(255, 0, 0)、実線(0.13)]

### (14) 地番

M-BMK-TXT4 [黒(※白)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

### (15) 横断測量箇所、縦断勾配 (5%以上のもの)、曲線半径

M-BMK-TXT6 [橙(255, 128, 0)、実線/一点鎖線/二点鎖線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

### (16) 道路幅員 (現況)

M-BMK-DIM1 車道、歩道及び道路全幅員 (車道の幅員が 0.5 m 以上変化する箇所)

[黒(※赤(255, 0, 0)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

※SXFの規定上、寸法線に使用できる矢印形状(コード)があらかじめ定められており、道路幅員寸法の矢印形状では、『open arrow』を使用する

### (17) 道路幅員 (区域)

M-BMK-DIM2 [赤(255, 0, 0)、実線(0.13)、MSゴシック(2.5)]

※SXFの規定上、寸法線に使用できる矢印形状(コード)があらかじめ定められており、道路幅員寸法の矢印形状では、『open arrow』を使用する

## 10 ■ 道路台帳平面図の作成

### (18) 舗装種別

M-BMK-ROW1 [黒(※橙(255, 128, 0)、実線(0.13)、MS明朝(1.8)]  
**(参照：表-6 舗装構造記号)**

### (19) 道路台帳平面図の詳細図・説明

M-WORK [任意、コード：1～15(0.13, 0.25, 0.50)、  
 MS明朝/MSゴシック(1.8, 2.5, 3.5, 5, 7, 10, 14, 20)]

表-6 舗装構造記号

路面の種類			記号	
舗	高	コンクリート舗装	Co	
		アスファルト舗装	A	
		ブロック舗装	石塊	Bs
			レンガ(タイル)	Bb
装	簡	アスファルトコンクリート舗装	普通	a1
			カラー	a2
			透水性	a3
	易	コンクリート平板舗装	普通	Cb1
			カラー	Cb2
			誘導用ブロック	Cb3
		道	ブロック舗装	インターロッキング
	レンガ			b2
	タイル			b3
石	b4			
未舗装	舗装すべきところが未舗装になっている部分(砂利道等)		G	
その他	法敷等		法面等	

### 10-2 道路台帳仕様図形データ

道路台帳平面図等の図面に記載する図形データ(DM)は『図-10 道路台帳仕様図形データ』を使用し、その他規定されていない図形データは「東京都公共測量作業規定 公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表」に定められた図形のサイズを参照すること。

※上記の基準表はDMデータ作成に対する基準であり、SXFデータを作成するには不要な要素を含んでいる。また、DMデータでは、LINE や POINT に対して属性情報を付加し各図式を表現しているが、SXFデータでは、あくまで図形として作成される必要がある。

上記基準で参照するのは、図形のサイズのみを再現するための仕様とする。

また、上記基準で対応できないことは、各担当者と協議すること。

## 10 ■ 道路台帳平面図の作成

※上記基準の LINE データに属するサイズに関しては、SXFの既定義線種を優先する。

### (参照：表-4-1 既定義線種)

これは、上記基準でLINEデータを作成する際、ユーザー定義線種を多用する必要があり、データの統一性を失う可能性が高く、管理上好ましくないためである。

### 10-3 隣接図郭

図形情報が隣接図郭に跨る場合、当該図郭内の図形においては、図郭レイヤーの線分と交差する点を端点とし、隣接のデータと座標値を一致させること。

※上記内容は、測量補正した箇所であり、トレースから復元した箇所ではない。また、座標系は、『世界測地系平面直角公共座標』とし、方位「北」を上とする。

図-10 道路台帳仕様図形データ

基準点等	
公共基準点 (1級)	
公共基準点 (2級)	
公共基準点 (3級)	
4級基準点	
境界標 (石杭、金属等)	

交通施設	
郵便ポスト	
車両感知器	
公衆電話	

土地利用等	
ブロック塀	

注記		
パーキングメーター		
ケーブルテレビ		
人	下水	
	排水	
	水道	
	警察	
	共同溝注記	
孔	消火栓注記	
	ガス注記	
	電話注記	
	電気注記	
	下水注記	
	排水注記	
	水道注記	
	警察注記	

※ ○ (赤丸) は文字の挿入点とする。

## 1.1 ■地下埋設物台帳平面図の作成

地下埋設物台帳平面図の作成作業は、道路の主な占有物件を統括的に把握し、地下埋設物に係わる事故の防止及び占有関係事務の円滑化を図るために行う。

### 【解説】

道路台帳平面図に記載する地形地物のうち必要な事項を平板素図から図化し、地下埋設物台帳平面図（現況図）を作成する。図化方法については、「道路台帳一般図式及び凡例」（電子）による。

### 1.1-1 図面（現況図）の作成

仕様 [出力色(※データ色)、線種(線幅mm)、フォント(文字高mm)]

#### (1) 現況（地物）

M-BGD	道路（一般国道、主要地方道、一般都道、特例都道） [黒(※白)、実線/破線/跳び破線(0.13)]
M-BGD-TXT	当該道路沿道の地物及びその名称、公共建物及び主要な建物名称 (地下埋設物の記入の妨げにならないように記入する) [黒(※白)、実線(0.13)、MS明朝(2.5)、道路内の文字高は1.8]
M-BGD-EXST	現況（特に明示する地物） [黒(※白)、実線/破線(0.25)]
M-BGD-EXST1	現況（地下道の地物） [黒(※白)、実線/破線(0.25)]
M-BGD-EXST2	現況（高架の地物） [黒(※白)、実線/破線(0.25)]
M-BGD-CRST	主な横断構造物（トンネル、橋梁、鉄道） [黒(※白)、実線/破線(0.25)]

#### (2) 下記項目は、道路外に記入する

M-BGD-TXT1	都市区町名、丁目名 [黒(※白)、実線(0.13)、MS明朝(5.0)]
M-BGD-TXT1	街区番号（円の直径は6.0） [黒(※白)、実線(0.13)、MS明朝(2.5)]
M-BGD-EXS	都市区町境界線 [黒(※白)、実線/破線/一点鎖線/二点鎖線(0.25)]
—	行政境界線が道路を縦断する場合には、地下埋設物の記入の妨げにならないように適切な間隔で記入する
M-BMK-TXT3	路線の正式名称、整理番号、試験掘箇所 終点方向への矢印（路線の起点側より終点の方向を示す） [黒(※白)、実線(0.13)、MS明朝(3.5)] [青紫(128, 64, 255)、二点鎖線(0.13)、MSゴシック(1.8)]
M-BMK-TXT4	地番 [黒(※白)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

#### (3) 基準点、標石（石杭・金属標等）

M-BMK-SRVR	[黒(※緑(0, 255, 0)、実線(0.25)]
M-BMK-SRVR1	[黒(※緑(0, 255, 0)、実線(0.25)]
M-BMK-TXT	注記 [黒(※白)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]
M-BMK-TXT1	注記 [黒(※白)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

## 1.1 ■地下埋設物台帳平面図の作成

- (4) 横断測量箇所、縦断勾配（5%以上のもの）、曲線半径  
**M-BMK-TXT6** [橙(255, 128, 0)、実線/一点鎖線/二点鎖線(0.13)、MSゴシック(1.8)]
- (5) 道路幅員（現況）は、図面（現況図）に記入しない
- (6) 地下埋設物台帳平面図の詳細図・説明  
**M-OTRS** [任意、コード：1～15(0.13, 0.25, 0.50)、MS明朝/MSゴシック(1.8, 2.5, 3.5, 5, 7, 10, 14, 20)]

### 1.1-2 記載する占用物件等について（参照：表-7 記載する占用物件等）

- (1) 本管・支管・露出物等を記入する  
(2) 通信ケーブル等の重要な物件はすべて記入する  
(3) 道路の車道部分を横断する物件はすべて記入する  
(4) 下水道の取付管及び管外径80mm未満の供給管は、車道横断管以外記入しない  
(5) その他地下鉄、歩行者専用地下道等の構造物を記入する

表-7 記載する占用物件等

道路区分 管種等	車道		歩道	
	縦断	横断	縦断	横断
本管・支管・露出物等	○	○	○	○
通信ケーブル等重要物件	○	○	○	○
供給管80mm以上	○	○	○	○
供給管80mm未満		○		
下水道取付管		○		
地下鉄・歩行者地下道等	○	○	○	○

- (6) 占用物件を記入する

- M-BGD-CRST1** 電話線 [赤(255, 0, 0)、実線(0.25)]  
電線、人孔、ハンドホール、電柱（立上り柱のみ）、ピラーボックス(変圧器)、電話ボックス、特殊人孔、洞道等
- M-BGD-HTXT1** (旗上げ) [赤(255, 0, 0)、実線(0.13)、MSゴシック(3.5)]
- M-BGD-CRST2** 水道管 [シアン(0, 255, 255)、実線(0.25)]  
配水管、制水弁室、泥吐室、量水器室、空気弁室、消火栓、排気(水)弁室等
- M-BGD-HTXT2** (旗上げ) [シアン(0, 255, 255)、実線(0.13)、MSゴシック(3.5)]

## 1 1 ■地下埋設物台帳平面図の作成

M-BGD-CRST3	下水管 [茶(192, 128, 64)、実線(0.25)] 下水管、人孔、特殊人孔等
M-BGD-HTXT3	(旗上げ) [茶(192, 128, 64)、実線(0.13)、MSゴシック(3.5)]
M-BGD-CRST4	ガス管 [緑(0, 255, 0)、実線(0.25)] ガス管、気送室、ガバナー(整圧器室)、バルブボックス、防塵器室、自記 圧力計塔、バルブ等
M-BGD-HTXT4	(旗上げ) [緑(0, 255, 0)、実線(0.13)、MSゴシック(3.5)]
M-BGD-CRST5	電力線 [橙(255, 128, 0)、実線(0.25)] 電線、人孔、ハンドホール、電柱(立上り柱のみ)、配電箱(塔)、変圧器、 特殊人孔、洞道、換気道孔等
M-BGD-HTXT5	(旗上げ) [橙(255, 128, 0)、実線(0.13)、MSゴシック(3.5)]
M-BGD-CRST6	光ファイバー [赤(255, 0, 0)、実線(0.25)]
M-BGD-HTXT6	(旗上げ) [赤(255, 0, 0)、実線(0.13)、MSゴシック(3.5)]
M-BGD-CRST7	共同溝特殊部[黒(※茶(192, 128, 64))、実線(0.25)、MS明朝/MSゴシック(1.8)] 街灯用地下ケーブル、排水管、共同溝、キャブ、電線共同溝、自治体管路等
M-OTRS	共同溝管路部[黒(※茶(192, 128, 64))、破線(0.13)、MS明朝/MSゴシック(1.8)]
M-BGD-HTXT7	(旗上げ) [黒(※茶(192, 128, 64))、実線(0.13)、MSゴシック(3.5)]
M-BGD-CRST8	工業水道管 [明青(0, 128, 255)、実線(0.25)] 配水管、制水弁室、泥吐室、量水器室、空気弁室、排気(水)弁室等
M-BGD-HTXT8	(旗上げ) [明青(0, 128, 255)、実線(0.13)、MSゴシック(3.5)]
M-BGD-CRST9	警視庁 [橙(255, 128, 0)、実線(0.25)] 電線、人孔、ハンドホール、信号機(立上り柱のみ)等
M-BGD-HTXT9	(旗上げ) [橙(255, 128, 0)、実線(0.13)、MSゴシック(3.5)]

上記以外の占用物件については、レイヤーを新設して対応すること

M-BGD-CRSTn	他企業埋設物 [任意色、実線(0.25)、MS明朝/MSゴシック(1.8)] 地下鉄、歩行者専用地下道、路下駐車場、温水管、油送管等 レイヤー名『n』にはA～Zを使用すること
M-BGD-HTXTn	(旗上げ) [任意色、実線(0.13)、MSゴシック(3.5)]

※ 旗上げの文字サイズについて、基本は設定値「3.5」を使用すること。  
ただし、図郭内に収まらない場合などに限り、「2.5、1.8」を使用しても良いとする。

## 1.1 ■ 地下埋設物台帳平面図の作成

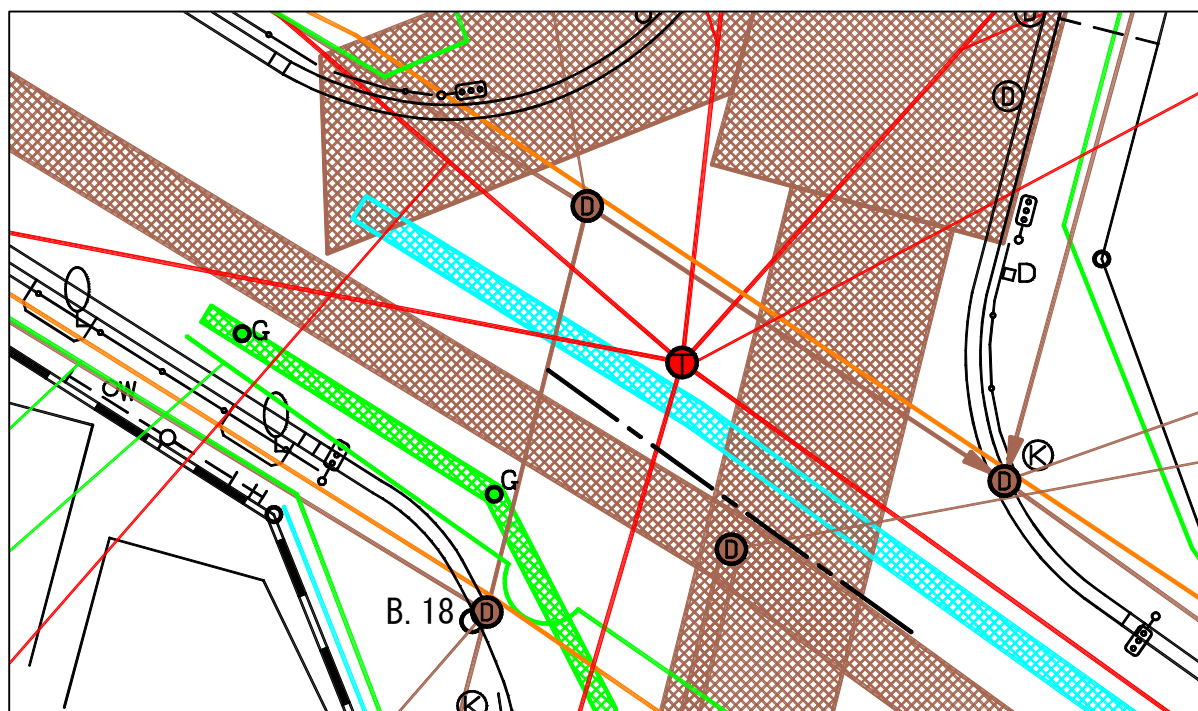
### 1.1-3 占有物件等の記入作業

(1) 占有物件は、それぞれの占有者別に色分けして記入する。

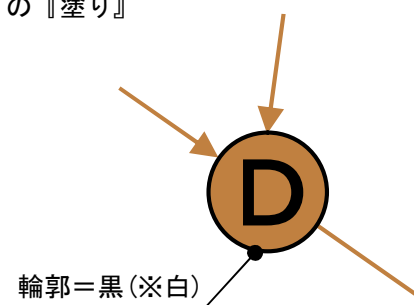
(参照：図-1.1 占有物件等の記入例)

- 地下埋設物の管径600mm未満の管路 [実線 (0.25)] (使用例A部)
- 地下埋設物の管径600mm以上の管路  
SXF (既定義) の『斜線格子縞』を使用する (使用例B部)
- 人孔及び流下方向 (矢印)  
SXF (既定義) の『塗り』を使用する (使用例C部)
- 特殊人孔  
『斜線格子縞』と『塗り』の両方を使用する (使用例D部)  
人孔及び特殊人孔の図形輪郭線は、[黒(※白)、実線(0.25)]とする

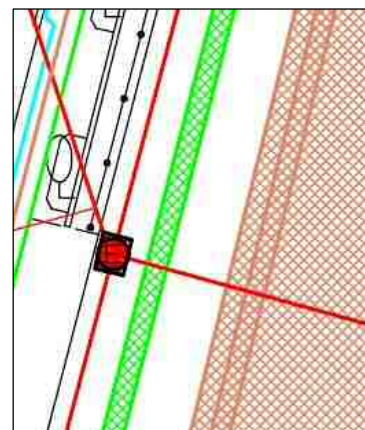
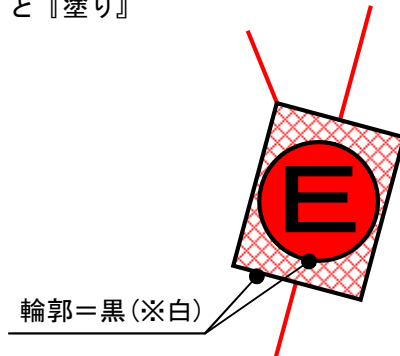
図-1.1 占有物件等の記入例



C部拡大図  
人孔及び流下方向 (矢印)  
の『塗り』



D部拡大図  
特殊人孔の『斜線格子縞』  
と『塗り』





## 1.1 ■地下埋設物台帳平面図の作成

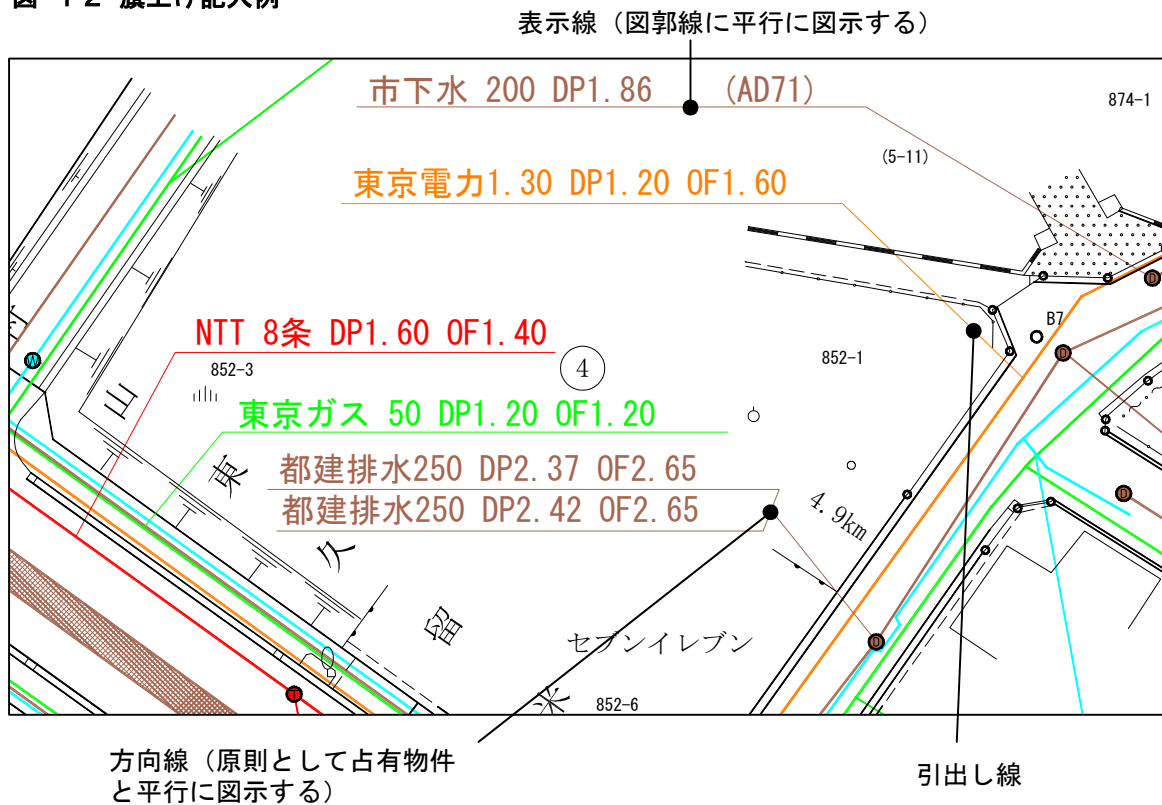
### (2) 旗上げの表示 (参照: 図-1.2 旗上げ記入例)

- OF** 埋設位置の距離  
近い方の道路区域の境界線又は道路端の構造物から地下埋設物の中心まで
- DP** 土被り  
地表から地下埋設物の天端の深さ
- AD** 西暦(4桁)を記入

旗上げの表示線は平面図の東西の図郭線に平行して各占有者の色別で記入し、各占有者名、管種の記号、地下埋設物の外径または形状、埋設位置(OF、DP)、埋設年次(AD)を書き入れる。

※ 旗上げは、図郭線内に収めること。

図-1.2 旗上げ記入例



(3) 共同溝、電線共同溝、キャブ、地下鉄、歩行者専用地下道、地下駐車場、洞道等については、旗上げによらず、原則として占有物件の中心に黒色(データ色(※白))で形状寸法と当該図面中の最小土被り及びその位置を記入する。

なお、共同溝及びキャブ、電線共同溝については当該図面中1箇所の横断面図を記載する。

(4) 橋梁に添架物がある場合は、別途余白に横断面図(縮尺適宜)を記載する。

(5) 残置物件がある場合は位置を明記し、旗上げにより種類及び形状寸法等を黒色(データ色(※白))で記入する。

## 1 2 ■ 道路敷地構成図の作成

道路の区域の境界（以下「道路区域」という）を確認し、道路区域内の道路敷地の構成を地番別、所有者別に調査し、その実態を的確に把握するため、平面図及び調書を作成する。また、現地においては、所定の位置に境界標を設置し、実測による座標値（公共座標）を与え、道路区域を明確にし、道路管理の円滑化を図る。

### 【解説】

道路区内全ての敷地について、筆界線、地番、無地番の種類を記入する。無番国有地は「道路台帳一般図式及び凡例」（電子）の表示例による。筆界の点間距離は、記入しない。

なお、平成14年度から平成16年度に実施した国有地取得事業により譲与を受けた国有地については、取得原因が譲与となり所有者は東京都となる（無番国有地は無番所有地となる）。

### 1 2 - 1 道路敷地構成図の作成

仕様 [出力色(※データ色)、線種(線幅mm)、フォント(文字高mm)]

#### (1) 現況 (地物)

M-BGD	道路（一般国道（指定区間外）、主要地方道、一般都道、特例都道） [赤茶(76, 0, 0) (※白)、実線/破線/跳び破線(0.13)]
M-BGD-TXT	当該道路沿道の地物及びその名称、公共建物及び主要な建物名称 [赤茶(76, 0, 0) (※白)、実線(0.13)、MS明朝(2.5、道路内の文字高は1.8)]
M-BGD-EXST	現況（特に明示する地物） [赤茶(76, 0, 0) (※白)、実線/破線(0.25)]
M-BGD-EXST1	現況（地下道の地物） [赤茶(76, 0, 0) (※白)、実線/破線(0.25)]
M-BGD-EXST2	現況（高架の地物） [赤茶(76, 0, 0) (※白)、実線/破線(0.25)]
M-BGD-CRST	主な横断構造物（トンネル、橋梁、鉄道） [赤茶(76, 0, 0) (※白)、実線/破線(0.25)]

#### (2)

M-BGD-TXT1	都市区町名、丁目名 [赤茶(※白)、実線(0.13)、MS明朝(5.0)]
M-BGD-TXT1	街区番号（円の直径は6.0） [赤茶(※白)、実線(0.13)、MS明朝(2.5)]
M-BGD-EXS	都市区町境界線 [赤茶(※白)、実線/破線/一点鎖線/二点鎖線(0.25)]

#### (3) 基準点、標石（石杭・金属標等）（参照：表-8 境界標）

M-BMK-SRVR	[黒(※緑(0, 255, 0)、実線(0.25)]
M-BMK-SRVR1	[黒(※緑(0, 255, 0)、実線(0.25)]
M-BMK-TXT	注記[黒(※白)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]
M-BMK-TXT1	注記[黒(※白)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

#### (4) 道路区域線、管理境界線

M-BMK-ROW	[橙(255, 128, 0)、実線/破線(0.50)、MSゴシック(3.5)] ※印刷文字色[赤茶(76, 0, 0)]
-----------	--

#### (5) 旗上げ

M-BMK-HTXT	[赤茶(76, 0, 0) (※白)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]
------------	--

## 1 2 ■ 道路敷地構成図の作成

### (6) 路線の正式名称、整理番号

**M-BMK-TXT2** 終点方向への矢印（路線の起点側より終点の方向を示す）  
[赤茶(76, 0, 0) (※白)、実線(0.13)、MS明朝(3.5)]

### (7) 地番（国有地、無地番）

**M-BMK-TXT5** [赤(255, 0, 0)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

### (8) 道路幅員（現況）

**M-BMK-DIM1** [赤茶(76, 0, 0) (※赤)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

### (9) 道路幅員（区域）

**M-BMK-DIM2** [赤(255, 0, 0)、実線(0.13)、MSゴシック(2.5)]

### (10) 辺長（点間距離）

**M-BMK-DIM3** [赤(255, 0, 0)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]  
点間距離は道路区域外に記入する  
点間距離は座標計算値（m単位、小数点以下2桁とし、3桁以下は切り捨て）  
とする（参照：図-13 辺長（点間距離）記入例）

### (11) 舗装種別

**M-BMK-ROW1** [赤茶(76, 0, 0) (※橙)、実線(0.13)、MS明朝(1.8)]

### (12) 沿道の土地の筆界線

**M-BMK-ROW2** 道路と隣接する土地について、一筆程度の筆界線及び地番等を記入する  
[黒(※白)、一点鎖線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

### (13) 敷民等、分筆済・未分筆の筆界線

**M-BMK-ROW3** 分筆済は、筆内に『敷民』と表示する  
[赤(255, 0, 0)、実線/一点鎖線(0.13)、MSゴシック(1.8)]  
未分筆は、筆内に未分筆の種類（敷民、国有地等）を表示する（○○の内）  
[赤(255, 0, 0)、実線/破線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

### (14) 測点番号（1から始まる番号）直径1.0mm

**M-BMK-ROW3** [赤(255, 0, 0)、実線(0.13)、MSゴシック(1.8)]

### (15) 道路敷地構成図の詳細図・説明

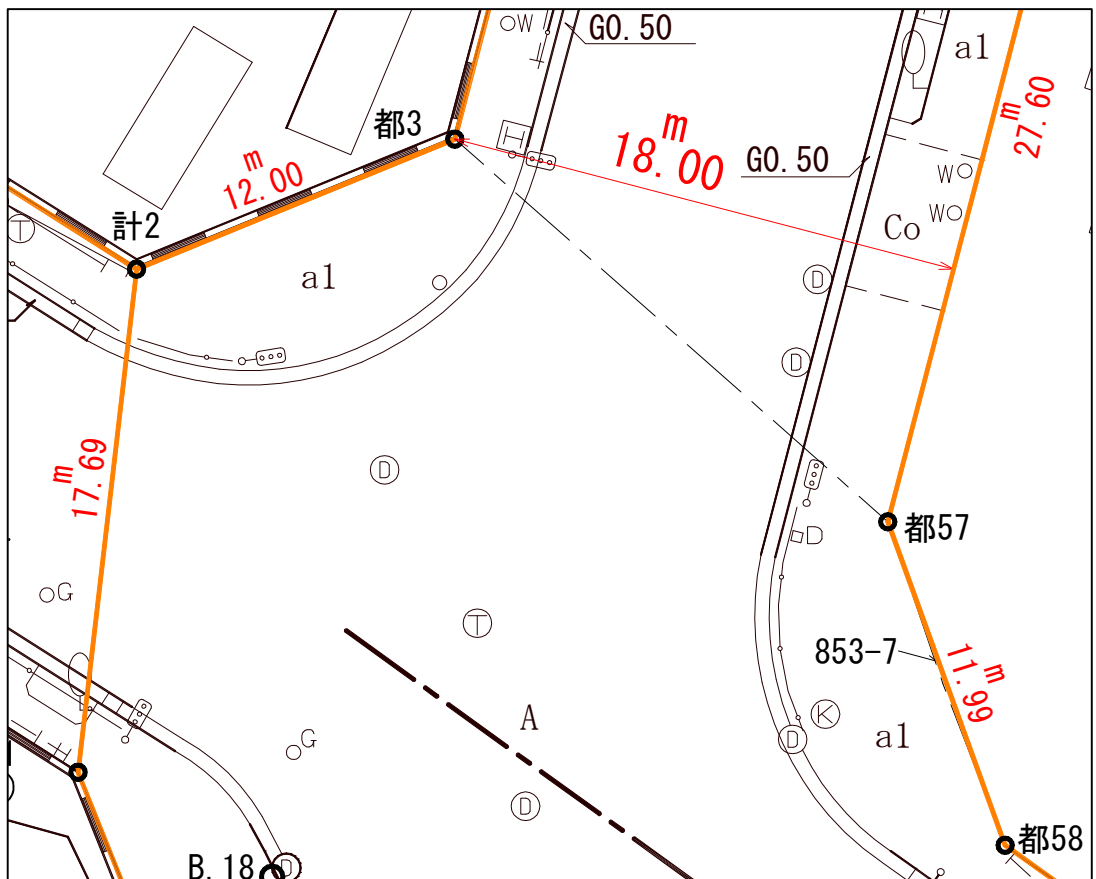
**M-DCR** [任意、コード：1~15(0.13, 0.25, 0.50)、  
MS明朝/MSゴシック(1.8, 2.5, 3.5, 5, 7, 10, 14, 20)]

1 2 ■ 道路敷地構成図の作成

表-8 境界標

所有	標種	例
旧建設省石標→国	鈔類→鈔	国鈔 11
財務省石標→財	刻印→刻	都金 22
都石標→都	金属鈔	市刻 33
区石標→区	(国土交通省、東京都、区市町村)→金	
市石標→市	計算点→計	
町石標→町		
村石標→村		
民間石標(金標)→民		

図-13 辺長(点間距離)記入例



## 1 2 ■ 道路敷地構成図の作成

### 1 2-2 調書の作成

道路敷地構成図の図化作業終了後、調書を記入し、内容等を照査する調書には4種類がある

- (1) 敷地構成所有者別調書
- (2) 境界標調書
- (3) 未分筆調書
- (4) 基準点成果表

※ 調書欄が多く、図形データと調書欄データが一図郭に収まらない場合  
一図郭内に複数枚存在することになる  
出力時の1枚目には図形データのみ、2枚目以降に調書欄データが表示される様に配置すること

#### (1) 敷地構成所有者別調書 (参照：表-10 敷地構成所有者別調書欄仕様)

この調書は土地登記簿的なものであり、道路を構成している敷地（土地）について、登記事項等に基づき記入する

なお、国より譲与を受け都有地となった無地番公用用地については、都有地1等の番号を付け、図上求積し記入する

- ① 調書は地番毎に必要な事項を記入する
- ② 地番及び地目欄には、土地登記簿の表示事項を記入する
- ③ 国公民の別欄には、国有地、公有地、私有地のいずれかを記入する  
(参照：表-9 地番及び地目欄)

表-9 地番及び地目欄

地番及び地目欄	所有
国有地	各省庁、機構等の国の機関
公有地	都道府県、区市町村等の自治体等の地方機関
私有地	個人、法人等

- ④ 公簿面積欄には、分筆済みの場合、表示登記の面積とする  
宅地は㎡単位、小数点以下2桁まで記入する  
公用道路、田、畑、山林等は㎡単位まで記入する
- ⑤ 実測面積欄には、丈量図等土地の実測図により確認した面積を㎡単位小数点以下2桁まで記入する

## 12 ■ 道路敷地構成図の作成

注) 丈量図等土地の実測図がなく、地図（公図）等の資料で判定した場合、図上読取りの面積と公簿面積との差がほとんどない時は、公簿面積を実測面積欄にも記入する

もし、大きな差が生じた時は図上読取り面積（㎡単位まで）を記入する  
公簿面積と実測面積との差については、用地取得の際、面積測定の方法により異なるので、取得の年代、当時の面積測定の方法等を考慮の上どちらを採用するか判定する

例) 数値の差ではなく百分率で比較する

100㎡：102㎡・・・ほとんど差がないものとして取扱う

2㎡：3㎡・・・・・・・・・・大きな差があるものとして取扱う

- ⑥ 敷地民有地、国公民有地等で未分筆の土地がある場合は一筆測量し、地番の欄には「〇〇の内」と表示する  
未分筆調書の座標面積を公簿面積、実測面積欄に記入し、取得原因欄には当該土地の登記簿表示の面積を記入する
- ⑦ 取得原因欄には、買取、寄付、譲与、貸付、無償使用等の権原取得の原因を記入する
- ⑧ 地番が敷地構成図2枚にまたがる場合は、前図、後図とのその地番の左欄外に※印を書き、前図で面積を集計する  
後図では面積欄に（ ）書で記入し、集計の対象にはしない
- ⑨ 地番が他の道路にまたがる場合又は敷地調査測量が2年にまたがる場合は、「〇〇の内」と表示し、該当する都道分の求積を行い、その測定した面積を公簿及び実測面積として記入し、登記等面積は取得原因欄に記入する

## 1 2 ■ 道路敷地構成図の作成

表-10 敷地構成所有者別調書欄仕様

平成 21 年度 敷地構成所有者別調書 (都道25号) 都道飯田橋石神井新座線 その1/2													
区市町村名	町・丁・字名	地番	地目	国公民の別	公簿面積 実測面積	取得原因	取得年月日	所有者住所	所有者氏名				
新宿区	西早稲田三丁目	90-2	内務省用地	公有地	980 965	譲与	平 18 9.28		東京都				
新宿区	西早稲田三丁目	87-2	内務省用地	公有地	( 52 ( 30				台帳治部 他1名				
新宿区	西早稲田二丁目	91-2の内	田	民有地	20 16			新宿区高田馬場 一丁目4番3号	建設太郎				
小計					国有地	公簿面積 実測面積	0.00 m <sup>2</sup> 0.00 m <sup>2</sup>	公有地	公簿面積 実測面積	1190.88 m <sup>2</sup> 1070.42 m <sup>2</sup>	敷地民有地	公簿面積 実測面積	403.73 m <sup>2</sup> 374.51 m <sup>2</sup>
									内 東京都	1070.42 m <sup>2</sup>		未分筆 分筆 筆数	72.48 m <sup>2</sup> 302.03 m <sup>2</sup> 15 筆
認 定	年 月 日	区域決定 区域変更	年 月 日	供用開始	年 月 日								
告 示 第 号			告 示 第 号										

### 例) 敷地構成所有者別調書欄

平成 21 年度 敷地構成所有者別調書 (都道4号) 都道東京所沢線													
区市町村名	町丁字名	地番	地目	国公民の別	公簿面積 実測面積	取得原因	取得年月日	所有者住所	所有者氏名				
東久留米市	下里 二丁目	888-2	宅地	公有地	( 107 107	買収	平 3 8.7		東京都				
"	下里 一丁目	1186-2	"	"	57 57	"	平 1 8.18		"				
"	"	1187-2	山林	"	( 56 ( 56	"	平 1 8.18		"				
"	下里 一丁目	1185-2の内	宅地	"	5 5	寄附 61.59 m <sup>2</sup>	昭 53 1.30		東久留米市				
"	"	1185-3	"	"	107 107	買収 154.64 m <sup>2</sup>	平 4 4.6		東京都				
"	下里 二丁目	889-2	"	"	69 69	買収 77.77 m <sup>2</sup>	平 5 2.2		"				
小計					国有地	公簿面積 実測面積	0.00 m <sup>2</sup> 0.00 m <sup>2</sup>	公有地	公簿面積 実測面積	239.99 m <sup>2</sup> 239.99 m <sup>2</sup>	敷地民有地	公簿面積 実測面積	0.00 m <sup>2</sup> 0.00 m <sup>2</sup>
									内 東京都	234.10 m <sup>2</sup>			
									東久留米市	5.89 m <sup>2</sup>			
合計					国有地	公簿面積 実測面積	0.00 m <sup>2</sup> 0.00 m <sup>2</sup>	公有地	公簿面積 実測面積	1468.69 m <sup>2</sup> 1503.37 m <sup>2</sup>	敷地民有地	公簿面積 実測面積	0.00 m <sup>2</sup> 0.00 m <sup>2</sup>
									内 東京都	1472.34 m <sup>2</sup>			
									東久留米市	31.03 m <sup>2</sup>			
認 定	年 月 日	区域決定 区域変更	年 月 日	供用開始	年 月 日								
告 示 第 号			告 示 第 号		平成 2年 2月 13日								
					第 147 号								

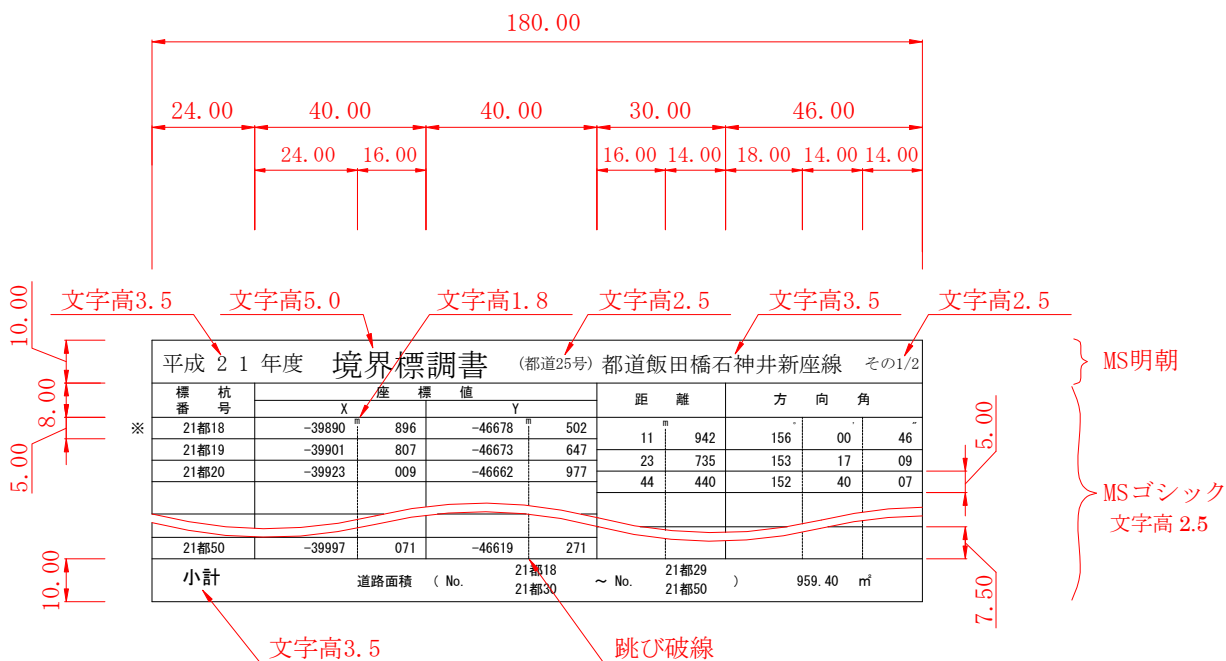
## 1 2 ■道路敷地構成図の作成

### (2) 境界標調書 (参照：表-1 1 境界標調書欄仕様)

各境界点の実測座標値の一覧表の作成及び道路面積の算出を目的とする

- ① 各境界標の成果の記入は座標面積の計算順に記入する (起点から右回り)
- ② 座標値は、m単位、小数点以下3桁とし、4桁を四捨五入する
- ③ 道路面積は、この調書における道路敷地の全面積であり無地番の国有地を含むものである  
面積の表示はm単位、小数点以下2桁とし、3桁以下を切り捨てる  
また、小計欄に面積測定の起点側及び終点側の標杭番号を記入する
- ④ 調書は敷地構成ごとの路線別に小計欄を設け、最後の図面の調書には合計欄を設ける  
また、本路線の調書が完了する時は、総合計の欄を設け、道路面積の集計を行う
- ⑤ 一連の境界点の計算が図面2枚又は調書2枚にわたる場合は、2枚の調書欄の前に※印を付け、  
面積計算に漏れがないように考慮する  
施行年度が異なる場合も同様とする
- ⑥ 上位路線との重用区間は上位路線分として道路敷地構成図上に別の境界標調書を作成する

表-1 1 境界標調書欄仕様





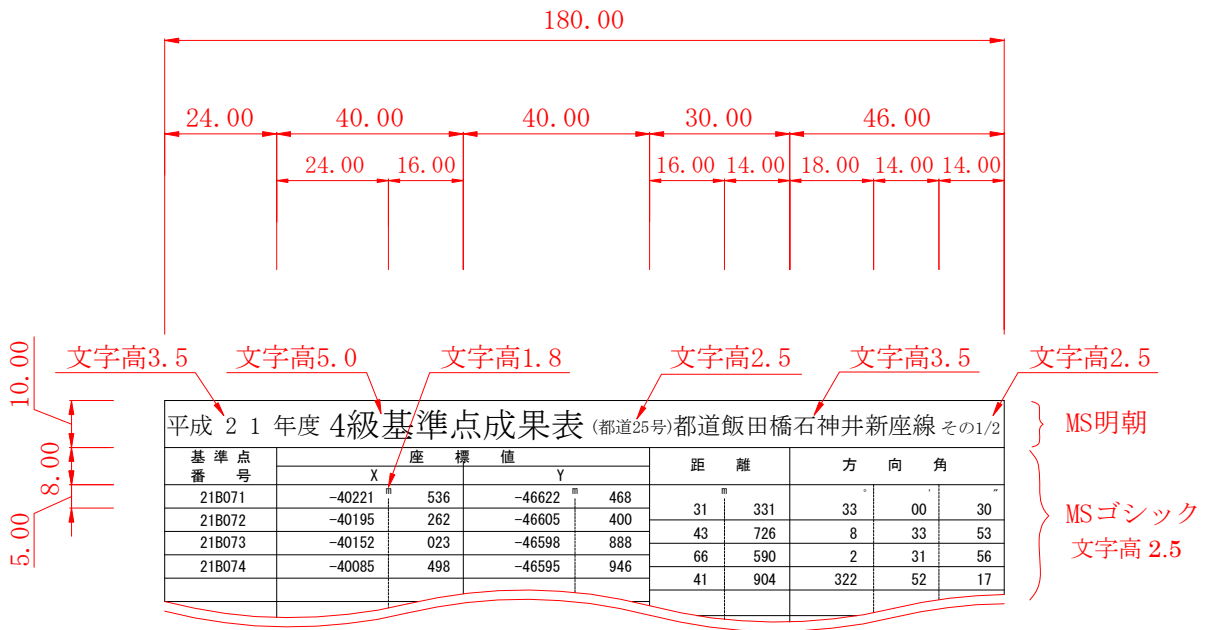


## 1 2 ■ 道路敷地構成図の作成

### (4) 基準点成果表 (参照：表-1 3 基準点成果表欄仕様)

基準点成果表は基準点測量に用いたすべての基準点について作成し、基準点の座標値、距離、方向角を記入する。

表-1 3 基準点成果表欄仕様



## 13 ■ 納品について

納品するファイルの形式は、SXF(P21)形式及びPDF形式の二種類を基本とする。

PDFファイルは、印字した際の文字化け等の不具合を解消した形で作成しなければならない。

ファイルを保存する記憶媒体は、CD-R（またはこれらに準ずるもの）とし、一図郭につきひとつの記憶媒体に保存することとする。

### 【解説】

CAD等で作成した図面とSXF(P21)形式の図面で距離管理が異なることがある。その場合は、SXF(P21)形式に変換する前に、あらかじめCADデータのサイズを整えておく必要がある。

納品する図面のファイル形式は、SXF(P21)形式及びPDF形式の二種類を原則とする。ただし、SXF(P21)形式については、東京都の保有するチェッカーに合格したものでなければならない。チェッカーに掛ける媒体は、CD-RW(書き込み可)として、対象図郭を1枚の媒体で作成する。

PDFファイルについては、CAD等で作成した図面を紙等に出力した際にまれにみられる、文字化け等の不具合を解消した形で作成しなければならない。

なお、SXFのバージョンについては、描画データに任意の属性データの付与が可能なSXF Ver. 3.0が一般には十分普及しているとはいえないので、本手引においてはVer. 2.0を想定している。従って、データへの属性の付し方に関しては、この手引では特段規定は設けない。また、将来的にGIS利用を想定したVer. 4.0が普及した際には、この手引の規定を見直す必要がある。

ファイルを保存する記憶媒体については、CD-R（またはこれらに準ずるもの）とし、一図郭につきひとつの記憶媒体に保存することとする。本手引では、原則として一図郭につきひとつのSXF形式のファイルとPDF形式のファイルを作成することを規定しているので、同一の図郭のファイルであればSXF形式のファイルとPDF形式のファイルのいずれも同一の記憶媒体に保存することを基本とする。

なお、記憶媒体にファイルを保存する際は、必ずウイルスチェックを行わなければならない。

## 13 ■ 納品について

---

### 13-1 チェッカープログラムによる品質検査

SXF(P21)は、東京都の所有する「SXFチェッカープログラム」で合格しなければならない。

ファイル名及びレイヤー名については、半角英数字を使用すること。  
また、記述記号であるハイフンも半角文字であることに注意すること。

品質検査を行う記憶媒体はCD-RWとし、チェッカープログラム検査で合格したデータはCD-Rで納品すること。

## 14 ■ 参考図書について

---

作業方法、精度等については、本要領に記載してあるもののほかは、下記の参考図書によって行う。

名 称	設定または発行機関
道路台帳一般図式及び凡例	東京都建設局道路管理部
東京都公共測量作業規程	東京都
測量委託標準仕様書	東京都建設局
道路台帳作成要領	東京都建設局道路管理部

# 作成データのレイヤー構成表

参考資料1

使用する文字高：1.8, 2.5, 3.5, 5, 7, 10, 14 or 20 mm

責任	オブジェクト	要素	レイヤー名		事項		線データ			文字データ		備考
			主項目	記載内容	線種	線幅	線色	RGB	種別	文字高		
M	-	TTL	図枠	図郭(図郭線)	実線	0.50	黄	255,255,0	-	-		
M	-	TTL - FRAM		タイトル枠、凡例枠	実線	0.25,0.50	黄	255,255,0	-	-		
M	-	TTL - LINE		タイトル罫線、区切線	実線	0.13	白	255,255,255	-	-		
M	-	TTL - TXT		文字列(行政名、図郭位置・番号、縮尺)	実線	0.13	白	255,255,255	明朝体 ゴシック体	2.5,3.5, 5,7,14		
M	-	TTL - TXT1		文字列(道路台帳、調製・補正・再製年月)	実線	0.13	白	255,255,255	明朝体	5,10,14		
M	-	TTL - TXT2		文字列(地下埋設物台帳、調製・補正・再製年月)	実線	0.13	白	255,255,255	明朝体	5,10,14		
M	-	TTL - TXT3		文字列(道路敷地構成図、調製・補正・再製年月)	実線	0.13	白	255,255,255	明朝体	5,10,14		
M	-	TTL - TXTn		文字列(道路敷地構成図、調製・補正・再製年月)	実線	0.13	白	255,255,255	明朝体	5,10,14		※『n』=「4~9, A~Z」
M	-	BGD	現況	現況(地物)	実線/破線 /跳び破線	0.13	白	255,255,255	-	-		
M	-	BGD - EXST		現況(特に明示する地物)	実線/破線	0.25	白	255,255,255	-	-		
M	-	BGD - EXST1		現況(地下道の地物)	実線/破線	0.25	白	255,255,255	-	-		
M	-	BGD - EXST2		現況(高架の地物)	実線/破線	0.25	白	255,255,255	-	-		
M	-	BGD - CRST		主な横断構造物(トンネル、橋梁、鉄道)	実線/破線	0.25	白	255,255,255	-	-		
M	-	BGD - TXT		文字列(現況)	実線	0.13	白	255,255,255	明朝体	1.8,2.5		・道路内の文字高は1.8 ・街区の文字高は2.5、 円の直径は6.0とする
M	-	BGD - TXT1		都市区町名、丁目名、街区番号	実線	0.13	白	255,255,255	明朝体	2.5,5.0		
M	-	BGD - EXS		都市区町境界線	実線/破線/一点 鎖線/二点鎖線	0.25	白	255,255,255	-	-		
M	-	BGD - CRST1	(地下埋)	電話線	実線	0.25	赤	255,0,0	-	-		・人孔や特殊人孔の線は 緑色を『白』にする
M	-	BGD - CRST2		水道管	実線	0.25	シアン	0,255,255	-	-		
M	-	BGD - CRST3		下水管	実線	0.25	茶	192,128,64	-	-		
M	-	BGD - CRST4		ガス管	実線	0.25	緑	0,255,0	-	-		
M	-	BGD - CRST5		電力線	実線	0.25	橙	255,128,0	-	-		
M	-	BGD - CRST6		光ファイバー	実線	0.25	赤	255,0,0	-	-		
M	-	BGD - CRST7		共同溝特殊部(道路管理者)	実線	0.25	茶	192,128,64	明朝体 ゴシック体	1.8		
M	-	OTRS		共同溝管路部(道路管理者)	破線	0.13	茶	192,128,64	明朝体 ゴシック体	1.8		
M	-	BGD - CRST8		工業水道管	実線	0.25	明青	0,128,255	-	-		
M	-	BGD - CRST9		警視庁	実線	0.25	橙	255,128,0	-	-		
M	-	BGD - CRSTn		他企業埋設物	実線	0.25	任意		明朝体 ゴシック体	1.8	※『n』=「A~Z」	
M	-	BGD - HTXT1		旗上げ(電話線)	実線	0.13	赤	255,0,0	ゴシック体	3.5	・残置物件の表示で印刷 色の黒の「×」は、線 色を『白』にする	
M	-	BGD - HTXT2		旗上げ(水道管)	実線	0.13	シアン	0,255,255	ゴシック体	3.5		
M	-	BGD - HTXT3		旗上げ(下水道)	実線	0.13	茶	192,128,64	ゴシック体	3.5		
M	-	BGD - HTXT4	旗上げ(ガス管)	実線	0.13	緑	0,255,0	ゴシック体	3.5			
M	-	BGD - HTXT5	旗上げ(電力線)	実線	0.13	橙	255,128,0	ゴシック体	3.5			
M	-	BGD - HTXT6	旗上げ(光ファイバー)	実線	0.13	赤	255,0,0	ゴシック体	3.5	・旗上げの文字サイズを 『1.8, 2.5』も使用可能 とする		
M	-	BGD - HTXT7	旗上げ(共同溝)	実線	0.13	茶	192,128,64	ゴシック体	3.5			
M	-	BGD - HTXT8	旗上げ(工業水道管)	実線	0.13	明青	0,128,255	ゴシック体	3.5			
M	-	BGD - HTXT9	旗上げ(警視庁)	実線	0.13	橙	255,128,0	ゴシック体	3.5			
M	-	BGD - HTXTn	旗上げ(他企業埋設物)	実線	0.13	任意		ゴシック体	3.5	※『n』=「A~Z」		
M	-	BMK - SRVR	測量	基準点類	実線	0.25	緑	0,255,0	-	-		
M	-	BMK - ROW		道路区域線、管理境界線	実線/破線	0.50	橙	255,128,0	ゴシック体	3.5		
M	-	BMK - TXT		文字列(基準点類の注記)	実線	0.13	白	255,255,255	ゴシック体	1.8		
M	-	BMK - HTXT		旗上げ	実線	0.13	白	255,255,255	ゴシック体	1.8		
M	-	BMK - SRVR1	(台帳)	標石(石杭・金属標等)	実線	0.25	緑	0,255,0	-	-		
M	-	BMK - TXT1		標石(石杭・金属標等)の注記	実線	0.13	白	255,255,255	ゴシック体	1.8		
M	-	BMK - TXT2		路線名・整理番号、起終点	実線	0.13	白/赤	255,255,255 255,0,0	明朝体	3.5		
M	-	BMK - TXT3		路線名・整理番号(地下埋用) 試験掘箇所	実線/二点鎖線	0.13	白/青紫	255,255,255 128,64,255	明朝体 ゴシック体	1.8,3.5		
M	-	BMK - TXT4		地番(道路台帳用、地下埋用)	実線	0.13	白	255,255,255	ゴシック体	1.8		
M	-	BMK - TXT5		地番(国有地、無地番)	実線	0.13	赤	255,0,0	ゴシック体	1.8		
M	-	BMK - TXT6		横断測量箇所、縦断勾配、曲線半径	実線/一点鎖線 /二点鎖線	0.13	橙	255,128,0	ゴシック体	1.8		
M	-	BMK - DIM1		道路幅員(現況)	実線	0.13	赤	255,0,0	ゴシック体	1.8		
M	-	BMK - DIM2		道路幅員(区域)	実線	0.13	赤	255,0,0	ゴシック体	2.5		
M	-	BMK - DIM3		辺長	実線	0.13	赤	255,0,0	ゴシック体	1.8		
M	-	BMK - ROW1		舗装種別	実線	0.13	橙	255,128,0	明朝体	1.8		
M	-	BMK - ROW2		筆界線・地番	実線/一点鎖線	0.13	白	255,255,255	ゴシック体	1.8		
M	-	BMK - ROW3		筆界線(敷民等未分筆)・種類・測点・測点名	実線/破線 /一点鎖線	0.13	赤	255,0,0	ゴシック体	1.8		
M	-	DCR		その他	道路敷地構成図の詳細図・説明	コード：1~15	0.13,0.25, 0.50	任意		明朝体 ゴシック体	1.8,2.5,3.5, 5,7,10,14,20	※敷地構成に関連する未 定義データを格納
M	-	DOC - DOCn	道路敷地構成図調書欄		実線/跳び破線	0.13	白	255,255,255	明朝体 ゴシック体	1.8,2.5,3.5, 5	※『n』=「1~9, A~Z」	
M	-	OTRS	地下埋設物台帳平面図の詳細図・説明		コード：1~15	0.13,0.25, 0.50	任意		明朝体 ゴシック体	1.8,2.5,3.5, 5,7,10,14,20	※地下埋に関連する未定 義データを格納	
M	-	WORK	道路台帳平面図の詳細図・説明		コード：1~15	0.13,0.25, 0.50	任意		明朝体 ゴシック体	1.8,2.5,3.5, 5,7,10,14,20	※道路台帳に関連する未 定義データを格納	

# 印刷時のレイヤー別色設定

参考資料2

レイヤー名			事項		線データ		道路台帳印刷		地下埋設物台帳印刷		敷地構成図印刷	
責任	オブジェクト	要素	主項目	記載内容	線種	線幅	線色	RGB	線色	RGB	線色	RGB
M	-	TTL	図枠	図郭(図郭線)	実線	0.50	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	TTL - FRAM		タイトル枠、凡例枠	実線	0.25,0.50	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	TTL - LINE		タイトル罫線、区切線	実線	0.13	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	TTL - TXT		文字列(行政名、図郭位置・番号、縮尺)	実線	0.13	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	TTL - TXT1		文字列(道路台帳、調製・補正・再製年月)	実線	0.13	黒	0,0,0				
M	-	TTL - TXT2		文字列(地下埋設物台帳、調製・補正・再製年月)	実線	0.13			黒	0,0,0		
M	-	TTL - TXT3		文字列(道路敷地構成図、調製・補正・再製年月)	実線	0.13					赤茶	76,0,0
M	-	TTL - TXTn		文字列(道路敷地構成図、調製・補正・再製年月)	実線	0.13					赤茶	76,0,0
M	-	BGD	現況	現況(地物)	実線/破線/跳び破線	0.13	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	BGD - EXST		現況(特に明示する地物)	実線/破線	0.25	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	BGD - EXST1		現況(地下道の地物)	実線/破線	0.25	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	BGD - EXST2		現況(高架の地物)	実線/破線	0.25	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	BGD - CRST		主な横断構造物(トンネル、橋梁、鉄道)	実線/破線	0.25	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	BGD - TXT		文字列(現況)	実線	0.13	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	BGD - TXT1		都市区町名、丁目名、街区番号	実線	0.13	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	BGD - EXS		都市区町境界線	実線/破線/一点鎖線/二点鎖線	0.25	黒	0,0,0	黒	0,0,0	赤茶	76,0,0
M	-	BGD - CRST1		現況 (地下埋)	電話線	実線	0.25			赤	255,0,0	
M	-	BGD - CRST2	水道管		実線	0.25			シアン	0,255,255		
M	-	BGD - CRST3	下水管		実線	0.25			茶	192,128,64		
M	-	BGD - CRST4	ガス管		実線	0.25			緑	0,255,0		
M	-	BGD - CRST5	電力線		実線	0.25			橙	255,128,0		
M	-	BGD - CRST6	光ファイバー		実線	0.25			赤	255,0,0		
M	-	BGD - CRST7	共同溝特殊部(道路管理者)		実線	0.25			黒	0,0,0		
M	-	OTRS	共同溝管路部(道路管理者)		破線	0.13			黒	0,0,0		
M	-	BGD - CRST8	工業水道管		実線	0.25			明青	0,128,255		
M	-	BGD - CRST9	警視庁		実線	0.25			橙	255,128,0		
M	-	BGD - CRSTn	他企業埋設物		実線	0.25			任意			
M	-	BGD - HTXT1	旗上げ(電話線)		実線	0.13			赤	255,0,0		
M	-	BGD - HTXT2	旗上げ(水道管)		実線	0.13			シアン	0,255,255		
M	-	BGD - HTXT3	旗上げ(下水管)		実線	0.13			茶	192,128,64		
M	-	BGD - HTXT4	旗上げ(ガス管)		実線	0.13			緑	0,255,0		
M	-	BGD - HTXT5	旗上げ(電力線)		実線	0.13			橙	255,128,0		
M	-	BGD - HTXT6	旗上げ(光ファイバー)		実線	0.13			赤	255,0,0		
M	-	BGD - HTXT7	旗上げ(共同溝)		実線	0.13			黒	0,0,0		
M	-	BGD - HTXT8	旗上げ(工業水道管)		実線	0.13			明青	0,128,255		
M	-	BGD - HTXT9	旗上げ(警視庁)		実線	0.13			橙	255,128,0		
M	-	BGD - HTXTn	旗上げ(他企業埋設物)	実線	0.13			任意				
M	-	BMK - SRVR	測量	基準点類	実線	0.25	黒	0,0,0	黒	0,0,0	黒	0,0,0
M	-	BMK - ROW		道路区域線、管理境界線	実線/破線	0.50	橙/黒	255,128,0 0,0,0			橙/赤茶	255,128,0 76,0,0
M	-	BMK - TXT		文字列(基準点類の注記)	実線	0.13	黒	0,0,0	黒	0,0,0	黒	0,0,0
M	-	BMK - HTXT		旗上げ	実線	0.13	黒	0,0,0			赤茶	76,0,0
M	-	BMK - SRVR1	測量 (台帳)	標石(石杭・金属標等)	実線	0.25	黒	0,0,0	黒	0,0,0	黒	0,0,0
M	-	BMK - TXT1		標石(石杭・金属標等)の注記	実線	0.13	黒	0,0,0			黒	0,0,0
M	-	BMK - TXT2		路線名・整理番号、起終点	実線	0.13	黒/赤	0,0,0 255,0,0			赤茶	76,0,0
M	-	BMK - TXT3		路線名・整理番号(地下埋用) 試験掘箇所	実線/二点鎖線	0.13			黒/青紫	0,0,0 128,64,255		
M	-	BMK - TXT4		地番(道路台帳用、地下埋用)	実線	0.13	黒	0,0,0	黒	0,0,0		
M	-	BMK - TXT5		地番(国有地、無地番)	実線	0.13					赤	255,0,0
M	-	BMK - TXT6		横断測量箇所、縦断勾配、曲線半径	実線/一点鎖線/二点鎖線	0.13	橙	255,128,0	橙	255,128,0		
M	-	BMK - DIM1		道路幅員(現況)	実線	0.13	黒	0,0,0			赤茶	76,0,0
M	-	BMK - DIM2		道路幅員(区域)	実線	0.13	赤	255,0,0			赤	255,0,0
M	-	BMK - DIM3		辺長	実線	0.13					赤	255,0,0
M	-	BMK - ROW1	舗装種別	実線	0.13	黒	0,0,0			赤茶	76,0,0	
M	-	BMK - ROW2	筆界線・地番	実線/一点鎖線	0.13					黒	0,0,0	
M	-	BMK - ROW3	筆界線(敷民等未分筆)・種類・測点・測点名	実線/破線/一点鎖線	0.13					赤	255,0,0	
M	-	DCR	その他	道路敷地構成図の詳細図・説明	コード:1~15	0.13,0.25, 0.50					任意	
M	-	DOC - DOCn		道路敷地構成図調書欄	実線/跳び破線	0.13					黒	0,0,0
M	-	OTRS		地下埋設物台帳平面図の詳細図・説明	コード:1~15	0.13,0.25, 0.50			任意			
M	-	WORK		道路台帳平面図の詳細図・説明	コード:1~15	0.13,0.25, 0.50		任意				